

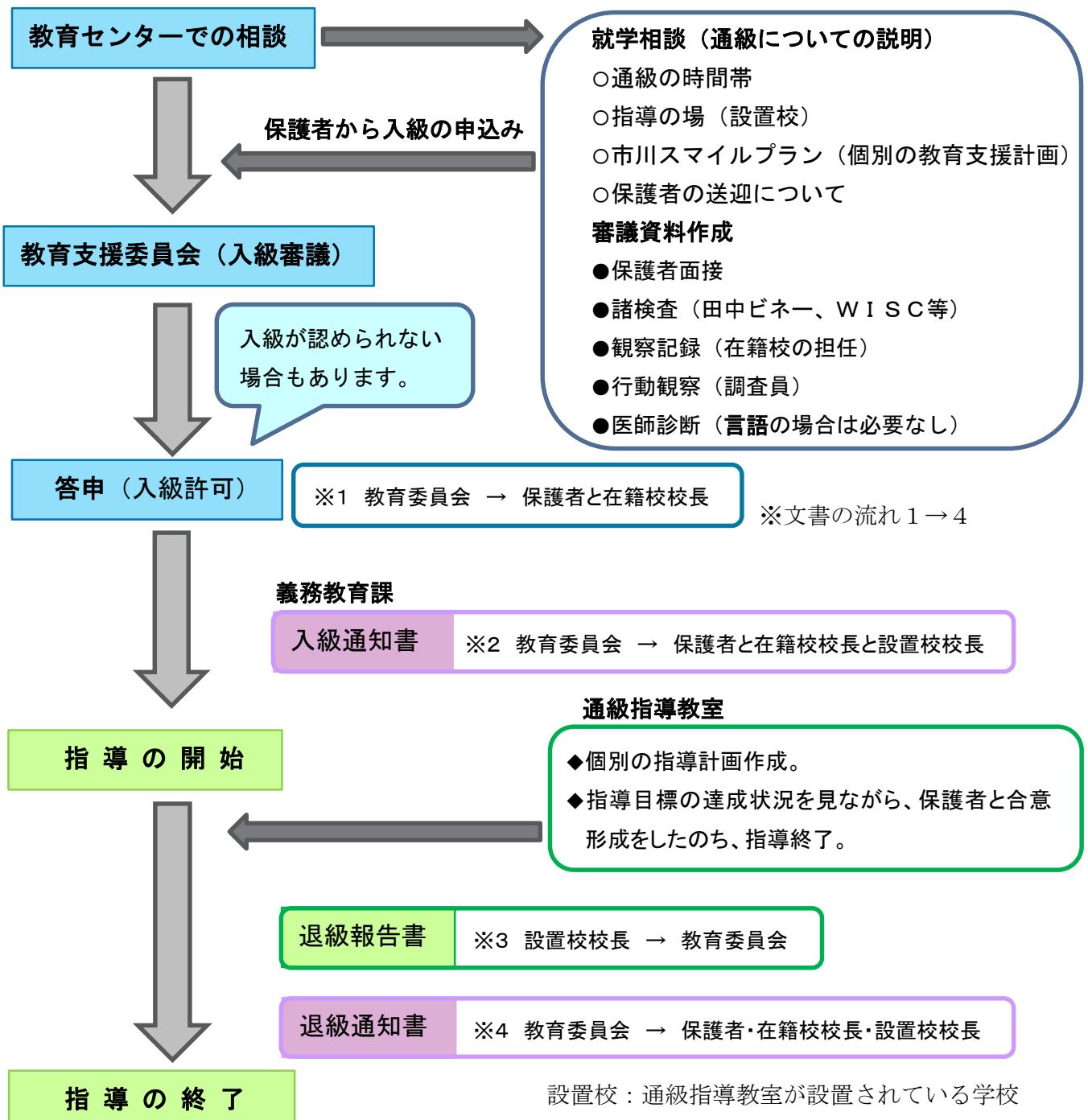
第二部 通級による指導について

第一章 担当者になったら

1 入級から終了までの流れは

通常学級の子どもたちが通級指導教室の利用を希望する際、入級から終了までの流れは以下のようになります。

肢体不自由、視覚サテライト教室については、異なる障がい種の特別支援学級に在籍している子どもたちも利用が可能です。



<参考資料> 入級から退級までの書類について

※2 入級通知書

(設置校用)

市教義第 号
平成 年 月 日

市川市立 学校長 様

市川市教育委員会

通級指導教室入級通知書 ()

の答申に基づいて、下記児童については通級による指導を受けることが望ましいので通知いたします。

記

児童生徒氏名	生年月日	性別	続柄	保護者氏名
現住所				
入級月日	平成 年 月 日	学年	第 学年	
在学学校名	学校	設置先学校名	学校	

貴職におかれましては、当該児童が適切なる指導を受けられますようお願いいたします。

- ・設置校と義務教育課が協議し、入級日を決定。
- ・義務教育課が、設置校、在籍校、保護者の三者に送付。

※3 退級報告書

平成 年 月 日

市川市教育委員会 様

市川市立 学校
校長

通級指導教室退級報告書 ()

このことについて、以下のように報告いたします。

児童氏名	生年月日	性別	続柄	保護者氏名
	平成 年 月 日	男・女		
現住所	〒 市川市			
退級月日	平成 年 月 日	学年	第 学年	
所属学校名	市川市立 学校	設置先学校名	市川市立 学校	
退級理由	指導終了 3. 卒業			

- ・設置校が本人や保護者と指導の終了について確認をし、退級日を決定。
- ・設置校から義務教育課へ送付。

※4 退級通知書

(設置校用)

市教義第 号
平成 年 月 日

市川市教育委員会

通級指導教室退級通知書 ()

このことについて、下記のとおり通知いたします。

児童生徒氏名	生年月日	性別	続柄	保護者氏名
現住所				
退級月日	平成 年 月 日	学年	第 学年	
所属学校名	学校	設置先学校名	学校	
理由	1. 指導終了 3. 卒業 2. 転居 4. その他()			

- ・義務教育課が設置校、在籍校、保護者の三者に送付。

2 入級を考えている児童生徒がいる場合は

保護者や担任の気づき・本人の困難な状況

学校生活の中で何らかの困難を感じている児童生徒、何らかの支援を必要としている児童生徒に対して、まずは、校内支援を行います。

○学校での対応

特別支援教育コーディネーター(以下コーディネーター)が中心となって相談し、校内支援を検討する。

校内委員会の開催

毎月の生徒指導部会、教育相談部会等と兼ねても可。

コーディネーター、校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、養護教諭、教育相談担当者、担任、該当児童生徒に関わる機会の多い教職員等

○児童生徒の実態把握

- ・保護者の思い、児童生徒の困り感
- ・クラスでの配慮、現在の校内支援の有無
- ・巡回指導職員、県アドバイザー、特別支援学校コーディネーター等による児童生徒の見立て
- ・保護者と共に「市川スマイルプラン」の検討、作成

○具体的な支援方法の検討

- ・「いつ」「だれが」「どのような」支援をするのか
- ・「個別の指導計画」の作成

○支援の見直し、経過報告(随時)

○保護者との教育相談(随時)

- ・今後の支援の方向性、保護者と児童生徒の思いの確認
- ・外部機関との連携を提示(教育センター、通級指導教室等)

通級指導教室や他の相談場所について、保護者が知りたいと希望した時に紹介します。

○肢体不自由、視覚サテライト教室

⇒県立船橋特別支援学校との教育相談が必要。中学の肢体不自由は県立船橋夏見特別支援学校と教育相談が必要。

○その他の通級指導教室

⇒必要に応じて見学。

通級指導教室には入級せずに、保護者が子どもとの関わり方について相談したい場合。

通級指導教室の見学、問い合わせ

事前◆見学の際は、管理職同士で連絡を取り合う。

- ◆通級指導教室の担当者は、保護者見学の日程を調整する。

当日◆通級指導教室について説明する。

- ◆入級の可否については、保護者から尋ねられても、担当者は判断できない旨を伝える。

教育センターでの相談

○教育相談

子育てをしていく中で生じる様々な悩みに関して、専門知識を持つ教育相談員等が保護者との面接相談やカウンセリングを行ったり、子どもとのプレイセラピー(遊戯療法)を実施したりすることで悩みの軽減や解消を図る。